

韓国的学生と東久留米第九小学校生の国際交流が行われました

2026年1月15日（木）、韓国人大学生15名（大田市）と第九小学校5、6年生が体育館で交流し、一緒に給食を食べ、楽しいひと時を共有しました。

韓国の紹介に続き、扇の舞やK-POPの歌舞、テコンドーの試技などが披露され、お返しは合唱とよさこいソーランの群舞、最後は参加者全員で元気に踊りました。



また、1月22日（木）、韓国人小学5、6年生相当の23名（清州）と第九小学校3、4年生が視聴覚室で楽しく英語の授業を受け、一緒に給食を食べました。

英語の授業は、6人程の8グループに分かれ、様々な食材を使い、好みの料理を画像と英語を用い一緒に作り上げる、リラックスして交流も図れる構成でした。

最近はSNSにより瞬時に莫大な情報に接することが出来るようになりましたが、傳聞に頼り過ぎることによる弊害も指摘されています。小学期に多様な文化と身近に直に接する今回の交流の機会は双方の生徒に良い刺激を与えたように見えました。



両日アテンドいただきましたキムさん、姜さん、第九小学校山本校長先生をはじめ担当教職員の皆さんのご協力に感謝いたします。来日した学生の皆さんには、十分に日本を体験して帰国していただきたいものです。

以上

東久留米国際友好クラブ 中川誠治